

# 社会福祉法人かがやけ福祉会

## 2016年度事業報告書 (平成28年度)

かがやけ福祉会 法人本部	2 頁
かがやけ共同作業所	8 頁
かがやけ第2共同作業所	11 頁
グループホーム	14 頁
相談支援センターかがやけ	16 頁

## 2016年度 法人本部事業報告

### I 理事会の開催

年5回開催した。

第1回理事会 (通算 103回) 2016年5月28日

- 第1号議案 2015年度 事業報告について
- 第2号議案 2015年度 決算報告について
- 第3号議案 監事監査について
- 第4号議案 給与・退職金規程の改正について
- 第5号議案 期間契約職員就業規則の改正について

第2回理事会 (通算 104回) 2016年7月24日

- 報告事項 社会福祉法人制度改革について
- 報告事項 今後のグループホーム事業拡大について

第3回理事会 (通算 105回) 2016年10月29日

- 第1号議案 かがやけ福社会定款変更について
- 第2号議案 かがやけ福社会評議員選任・解任委員会運営細則制定について

第4回理事会 (通算 106回) 2017年2月5日

- 第1号議案 理事、監事、評議員および評議選任・解任委員会委員の報酬等に関する規程の改定について
- 第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 第3号議案 2017年度 評議員候補者の選任について
- 第4号議案 2016年度 第一次補正予算について
- 第5号議案 グループホームかがやけ寮のユニット増について
- 第6号議案 次期評議員の選任について
- 第7号議案 理事長及び常務理事の選任について

第5回理事会 (通算 107回) 2017年3月25日

- 第1号議案 定款細則の改正について
- 第2号議案 2016年度 二次補正予算案について
- 第3号議案 2017年度 事業計画案について
- 第4号議案 2017年度 当初予算案について
- 第5号議案 2017年度 処遇改善手当について
- 第6号議案 2017年度 職員体制及び団体の派遣について

### II 評議員会の開催

年4回開催した。

第1回評議員会（通算 68 回） 2016 年 5 月 28 日

- 第1号議案 2015 年度 事業報告について
- 第2号議案 2015 年度 決算報告について
- 第3号議案 監事監査について
- 第4号議案 給与・退職金規程の改正について
- 第5号議案 期間契約職員就業規則の改正について

第2回評議員会（通算 69 回） 2016 年 10 月 29 日

- 第1号議案 かがやけ福祉会定款変更について
- 第2号議案 かがやけ福祉会評議員選任・解任委員会運営細則制定について

第3回評議員会（通算 70 回） 2017 年 2 月 5 日

- 第1号議案 理事、監事、評議員および評議選任・解任委員会委員の報酬等に関する規程の改定について
- 第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 第3号議案 2017 年度 評議員候補者の選任について
- 第4号議案 2016 年度 第一次補正予算について
- 第5号議案 グループホームかがやけ寮のユニット増について
- 第6号議案 次期役員を選任について

第4回評議員会（通算 71 回） 2017 年 3 月 25 日

- 第1号議案 定款細則の改正について
- 第2号議案 2016 年度 二次補正予算案について
- 第3号議案 2017 年度 事業計画案について
- 第4号議案 2017 年度 当初予算案について
- 第5号議案 2017 年度 処遇改善手当について
- 第6号議案 2017 年度 職員体制及び団体の派遣について

### Ⅲ 借入金の償還

独立行政法人福祉医療機構への借入金を、以下のように償還した。

- 1 かがやけ共同作業所建設借入金分として（1997 年 5,000 万円借入）  
（単位：円）

	元金	利息	合計	償還期日
第 37 回次	0	36,250	36,250	2016.9.10
第 38 回次	2,500,000	36,250	2,536,250	2017.3.10
合 計	2,500,000	72,500	2,572,500	

残高 0 円

最終償還日 2017 年 3 月 10 日

2 エタンセール建設借入金分として（2002年 2,230万円借入）

（単位：円）

	元金	利息	合計	償還期日
第26回次	1,480,000	22,200	1,502,200	2016.9.10
第27回次		11,100	11,100	2017.3.10
合計	1,480,000	33,300	1,513,300	

残高 1,480,000円

最終償還日 2017年9月10日

3 かがやけ第2共同作業所建設借入金分として（2004年 5,250万円借入）

（単位：円）

	元金	利息	合計	償還期日
第22回次	2,620,000	188,640	2,808,640	2016.5.10
第23回次		167,680	167,680	2016.11.10
合計	2,620,000	356,320	2,976,320	

残高 2,976,320円

最終償還日 2024年5月10日

#### IV 事業の展開

- 1 第二種社会福祉事業障害福祉サービス事業の経営
  - ・ 生活介護 かがやけ共同作業所
  - ・ 就労継続支援B型 かがやけ第2共同作業所
  - ・ 相談支援事業 相談支援センターかがやけ
  - ・ 共同生活援助（介護サービス包括型事業所） かがやけ寮  
（ユニット：かがやけ寮、リベルテ）
  - ・ 共同生活援助（介護サービス包括型事業所） エタンセール  
（ユニット：エタンセール、アルクアンシェル）
- 2 公益事業
  - ・ 葛飾区より在宅心身障害者緊急一時保護事業の受託

#### V 今年度の事業報告

1. 経営・組織強化のために

(1) 理念の実現

昨年に引き続き、理念プロジェクト会議を開催し、昨年度の理念の取り組みの到達点を確認し、理念の具体化を目指して話し合いを進めた。2016年度の課題として、職員全体により分かりやすく、理念の理解をしてもらい、理念の実現をめざせるよう、理念のハンドブックづくりを手掛けてきた。

理念全体会はプロジェクト会議の開催が遅れ、準備不足で開催することはできなかった。

(2) 経営組織の強化

社会福祉法人制度改革に伴い、理事会・評議員会の構成と機能が変わるため、その準備に力をいれ、体制を整えた。今後もかがやけ福祉会らしい民主的な経営めざしていく。

(3) 組織体制の確立

法人事務局会、管理職会議を定例化し、特に副施設長が経営に参加していけるよう、会議の議題の整理等を行い、会議を充実してきた。

また、管理職である施設長、副施設長が経営の視点を持ち、日々の事業所運営をしていくために、東京都福祉施設士会主催の経営塾やきょうされん主催の経営管理者研修会に積極的に参加し、学んできた。

(4) 利用者の安全と事業の継承めざした危機管理体制・災害対策の確立をすすめるとともに、事業所ごとの危機管理体制づくりを進めます。

各事業所の危機管理マニュアルを、法人としてまとめあげる作業を行う予定であったが、できなかった。

(5) 虐待防止委員会の定例化と虐待防止研修の実施

虐待防止委員会を3回開催した。事業所ごとに研修会を開催し、グレーゾーンの取り組みを行ったり、日々の支援の向上をめざした。

(6) 財政基盤の確立

グループホームにおいては、アルクアンシエルの消防設備の設置の際、区の補助金を活用し、支出を抑えた。

相談支援において、地域の相談件数を増やし、区独自の補助金を活用することで、収入の増を図った。

今年度、修繕積立金の増を図った。

(7) 内部監査の充実

法人内での内部監査（4月、11月）を実施するとともに、監事による中間監査（12月）を実施し、業務内容を見直す機会を設けた。

(8) 将来計画策定と5カ年計画に基づく事業の確実な実施

各事業所から計画をだし、5カ年計画について論議を始めたが、他の課題に追われ、時間を十分とることができず、完成までにはいたらなかった。

(9) 職員の働きやすい職場づくり

労働組合との話し合いを4回実施した。

労働組合からのアンケート等から職員の要望、声を聞くことができた。

(10)法人設立20周年記念事業の準備委員会のたちあげ

準備委員会をたちあげて準備をすすめて、11月25日に20周年記念事業のための全体会を開催し、実行委員会をたちあげた。

実行委員会は、5つの部会に分かれ、正規職員全員が各部会に参加し、職員全員で20周年記念事業に取り組むこととした。

(11)保護者会。運営協議会の充実

各事業所の保護者会にて、班別懇談会やなかまの様子を伝える機会を設け、交流をおこなってきた。

運営協議会を、月1回開催し、各事業所の運営や利用者への支援に関して意見の交換、情報の交換等を行い、今年度は、10月26日に「くすのき園」の見学会をおこなった。

合同保護者会にて、9月28日都立心身障害口腔保健センターの秋元由香利歯科衛生士をお招きして「介助者による口腔ケア」についての学習会を開催し、歯の健康について学んだ。

(12)かがやけ福祉会後援会との連携

担当理事をきめ、後援会事務局会議に参加することで、連携を図ってきた。

## 2. 事業と実践の展開

(1) 短期入所機能を備えた介護サービス包括型グループホームの新規創設の検討や賃貸物件の一部改修によるユニット増

グループホームのバリアフリー法の緩和に向け、葛飾区の建築課と話し合いを重ね、また保護者の協力も得て、個別の案件については、相談の上、バリアフリー法の緩和策が講じられることになり、大きな成果となった。

新築の一軒家を、賃貸することができ、2017年6月に開所することができることとなり、グループホームの定員増につながった。

(2) 利用者の高齢化、重度化に対応可能な日中活動の場の充実

利用者の高齢化への支援についての研修に参加するなど、職員が日々の支援の中での方法や制度について学んできた。

(3) 新たな作業所作りの検討

地域のニーズとして福祉的医療の必要な障害のある人たちの作業所づくりがあること、また、かがやけ福祉会のなかまの高齢化に向かい、医療との連携が今後必要な方たちが増えることを想定し、新たな作業所作りについて検討していく必要性をあげていたが、論議していくことはできなかった。

(4) 居宅介護事業所の開設を検討

具体的な検討をすることができなかった。

### 3. 人財の育成

かがやけ福祉会の歴史、理念の継承のため、管理者の育成や次世代の人財育成に力を入れ、目的意識的な人財育成を進めました。

#### (1) 新人研修

昨年に引き続き、チューターを配置  
法人研修担当者会主催の新規職員研修実施  
㈱ラーニングスクエアの協力のもと外部の研修システムを活用した研修の実施  
東京都社会福祉協議会主催の階層別研修を受講

#### (2) 実践充実のための研修及び実践報告会の実施

研修担当主催の外部講師による全体研修を3回、実践報告会を開催した。  
外部講師の講演

7月8日	障害者権利条約について	赤松英知
12月20日	グループホームでの支援について	山本あおひ
2月4日	発達保障を日々の支援に活かすために	船橋秀彦

#### (3) 管理者研修への研修派遣

東京都福祉施設士会主催の経営塾の受講  
きょうされん主催の経営管理者研修会に参加

### 4. 地域への取組

#### (1) 広報活動の充実

##### ①ホームページの充実

ホームページの更新を適切な時期に行ってきた。

##### ②かがやけニュースの紙面の充実

かがやけニュースを、5月・6月・11月・2月の年間4回発行してきた。

#### (2) 地域における公益的な取り組みを検討、実施する。

7月26日かがやけ第2共同作業所の屋上を地域に開放し、葛飾区花火大会の観賞会を開催した。

## 2016年度 かがやけ共同作業所事業報告

2016年度は、4月に葛飾特別支援学校と鹿本学園から各1名の新入所者を迎え、年度当初利用者数は56名、1月に退所者1名。年間平均利用率は89%で、今年度も比較的高い利用率を維持することが出来た。

生産活動（作業）については、利用者の年齢や体力を考慮して、公園清掃を1ヵ所減らしたため収入減となり、利用者増も伴い、年度末手当の支給はできなかった。

利用者支援については、4つの基礎班ごとに、班集団、作業、生活、健康等についての目標を定めて、利用者の自主性や相互理解、協力関係を支援の重点において支援を行ってきた。また支援内容を記録するケース記録や個別支援計画書の書式を改善した。健康管理については、今年度から肥満対策として対象者に個別の食事指導を行った。感染症予防対策として、今年度も所内にて希望者にインフルエンザ予防接種を実施し、所内消毒を早期から実施した結果、インフルエンザ発症者は3名、ウィルス性胃腸炎の発症者はなかった。家族向けに、口腔衛生についての学習会を開催した。

職員の資質向上については、法人全体研修に加えて、事業所で月に1回、障害福祉に関する著書の読書会を行い、感想や意見交換を行うことで、障害者福祉への理解を深めた。また、階層別研修や他施設での体験研修、虐待防止研修や安全運転講習などを実施した。

第三者評価を11月に受審し、働きやすい職場環境づくりや利用者主体の支援が行われていることについて評価を受けた。

災害対策として、利用者の緊急連絡票を見直し様式を改善した、細田三丁目町会と合同で「合同総合防災訓練」に参加し、防災意識の向上と地元町会との交流を図った。



## I 利用者状況

### 1. 事業種別 定員

- ・事業種別 生活介護事業
- ・定員 55名

### 2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	54	56	56	56	56	56
当月初	56	56	56	56	56	56
当月末	56	56	56	56	56	56
入所者	2	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率(%)	87	85	91	91	91	90
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	56	56	56	56	55	55
当月初	56	56	56	56	55	55
当月末	56	56	56	55	55	55
入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	1	0	0
利用率(%)	89	90	90	87	89	88

- ・入所者 4月1日 東京都立葛飾特別支援学校から1名入所  
4月1日 東京都立鹿本学園から1名入所
- ・退所者 1月14日 病気死亡により1名退所
- ・年間平均利用率 89%

### 3. 男女別 男性30名 女性25名

### 4. 居住地別 葛飾区 51名 足立区 1名 三郷市1名 白井市 1名 松戸市 1名

### 5. 年齢別 (2017年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
男	1	6	6	7	7	1	2	42歳
女	1	5	3	9	4	3	0	42歳
計	2	11	9	16	11	4	2	42歳
%	4	20	16	29	20	7	4	

## 6. 障害支援区分別

区分	人数
6	19
5	18
4	8
3	10
2	0
1	0
未判定	0
合計	55

※平均区分 4.8

7. 通所方法	送迎利用者	44名 (全6コース)
	家族送迎者	3名
	自主通所者	8名

2017年3月31日現在

## II 職員状況

### 1. 職員配置

1) 管理者	1名 (常勤1名)
2) サービス管理責任者	1名 (常勤1名)
3) 生活支援員	16名 (常勤13名、非常勤3名)
4) 看護職員	1名 (非常勤1名)
5) 栄養士	1名 (常勤1名)
6) 調理員	3名 (非常勤3名)
7) 事務員	2名 (常勤1名、非常勤1名)
8) 運転職員	1名 (非常勤1名)

※兼務表記省略 2016年4月1日現在

### 2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	17	17	17	16	16	16
非常勤	9	9	9	10	10	10
計	26	26	26	26	26	26
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	16	16	16	16	16	16
非常勤	10	10	10	10	10	10
計	26	26	26	26	26	26

各月当初人数

## 2016年度 かがやけ第2共同作業所事業報告

利用者の入所は特別支援学校新卒者3名を迎え利用者55名、年度内の退所者は無く年間平均利用率は90%と比較的高い利用率で1年間元気に活動することができた。

調理班は日常の弁当配食の他に保育園や小学校、中学校などの行事等での大口の弁当注文や春休みより新たな学童の事業者から弁当注文を受けた。また、季節の販売物では初めて恵方巻きに取り組み保護者や他施設、区役所などから多くの注文を受け大変好評だった。

お菓子班は、小学校の行事等での大口注文やイベントなどでの販売に取り組んできた。喫茶店は調理班のお弁当を提供することで喫茶の利用客が増え定着している。

公園清掃・トイレ清掃は、毎日の取り組みで利用者一人ひとりの清掃作業の力がつき、リーダーを中心としてお互いに協力し意欲的に取り組んできた。

受注作業については、一人ひとりの作業能力が上がり受注会社の急な発注に対しても対応可能となってきている。

利用者の平均工賃支給額は一人月19,460円と前年度(18,242円)より1,218円アップすることが出来た。

その他、重点項目については、①昨年に引き続き障害者権利条約について利用者・職員ともに自分たちのものとなるようリーダー会を中心に定期的に継続した学習会を行い、さらに作業所全体で4つのグループに分かれリーダー会が中心となり学習会を主催し利用者全員と職員で障害者権利条約について共有した。②販路開拓や新規の作業種目の開拓については他施設に見学に行き、自主製品の素材などを持ち寄り検討を進めた。③地域とより一層のつながりを深めるために2月のバレンタインにお菓子教室の開催を行った。近隣の小学校にチラシを配り19名の応募があり小さな子ども連れで気兼ねなく参加できたと、とても好評であった。

I 利用者状況 (2017年3月末現在)

1. 事業種別 定員

・事業種別 就労継続支援B型 ・定員 60名

2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	52	55	55	55	55	55
当月初	55	55	55	55	55	55
当月末	55	55	55	55	55	55
新入所者	3	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率	90.7	90.4	91.2	91.0	88.9	91.5
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	55	55	55	55	55	55
当月初	55	55	55	55	55	55
当月末	55	55	55	55	55	55
新入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率	89.9	90.5	90.5	88.2	90.9	89.8

利用率平均90.2%

入所者：4月1日東京都立葛飾特別支援学校卒3名、  
退所者：無し

3. 男女別 男性38名 女17名

4. 居住地別 葛飾区55名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢
男	2	9	16	6	4	1	38名	36歳2ヶ月
女	1	7	7	1	0	1	17名	33歳5ヶ月
計	3	16	23	7	4	2	55名	35歳4ヶ月
%	5.4	29.1	41.9	12.8	7.2	3.6	100	

## 6. 障害支援区分別

区分	人数
6	0
5	2
4	15
3	14
2	6
1	0
未判定	18
合計	55

7. 通所方法 自主通所 55名

## II 職員状況

### 1. 職員配置

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1) 管理者       | 1名 (常勤1名)        |
| 2) サービス管理責任者 | 1名 (常勤1名)        |
| 3) 生活支援員     | 1名 (常勤1名)        |
| 4) 職業指導員     | 8名 (常勤5名・非常勤3名)  |
| 5) 目標工賃達成指導員 | 1名 (常勤1名)        |
| 6) 就労支援員     | 1名 (常勤1名作業指導員兼務) |
| 7) 栄養士       | 1名 (常勤1名)        |
| 8) 調理員       | 2名 (常勤1名・非常勤1名)  |
| 9) 事務        | 2名 (常勤1名・非常勤1名)  |

2016年4月1日現在

### 2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
正職員	12	12	12	12	12	11
非常勤	5	5	6	6	7	7
計	17	17	18	18	19	18
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正職員	11	11	11	11	11	11
非常勤	7	7	7	7	7	7
計	18	18	18	18	18	18

各月当初人員

## 2016年度 グループホーム事業報告

設置義務化されていたアルクアンシエルのスプリンクラーを、区の補助金を活用して設置した。

入居者の高齢化に伴い、精神面の変化（いらだち）や運動能力の低下などが入居者にみられるようになった。一人ひとりに寄り添いながら、必要な支援を行うように心掛けた。そのような中、アルクアンシエルの入居者 1 名の白内障を発見し、保護者との協力や職員の体制を厚くするなど、手術の成功に向け、ホーム全体が一丸となり、手術の成功につながった。

アルクアンシエルの入居者 1 名が急病により、突然亡くなるという、悲しい出来事があった。

見通しのある本人らしい生活がおくれるよう、職員同士での話し合い（ホーム会議）の定例化を実行し、質のよい支援をめざした。

ホーム内行事、移動支援の活用、地域の障害者団体の行事などの参加を 1 ヶ月の計画に取り入れ、職員体制などを工夫し、一人ひとりが地域でゆたかに生活がおくれるよう、努力した。

### I 利用者状況

2017年3月31日現在

#### 1 定員と現員

(単位：人)

ケアホーム	ユニット	開設年月日	定員	現員		
				男性	女性	合計
かがやけ寮	かがやけ寮	H11. 12. 1	4	3	1	4
	リベルテ	H11. 4. 1	4	3	1	4
エタンセール	エタンセール	H11. 3. 1	7	4	3	7
	アルクアンシエル	H11. 5. 1	6	3	2	5

・退所者 1月14日 病気死亡により1名退所

#### 2 入居者の状況（年齢の状況）

ユニット	20代	30代	40代	50代	60代	合計
かがやけ寮			1	2	1	4
リベルテ		1	1	2		4
エタンセール		1	5	1		7
アルクアンシエル	1	2	2			5
合計	1	4	10	5	1	20

### 3 入居者の状況（障害者支援区分の状況）

ユニット	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
かがやけ寮			4				4
リベルテ			1	1	2		4
エタンセール				1	2	4	7
アルクアンシエル				1	3	1	5
合 計			5	4	7	5	20

平均区分 4.6

## II 職員状況

2016年4月1日現在

### 職員配置

- 1 管理者 1名（正規職員1名）
- 2 サービス管理責任者 かがやけ寮 1名（正規職員1名）  
エタンセール1名（正規職員1名）
- 3 世話人 8名（正規職員7名、非常勤1名）
- 4 生活支援員 18名（非常勤5名 パート13名）
- 5 調理員 3名

**2016年度 相談支援センターかがやけ事業報告**  
(指定特定相談支援事業)

今年度は、かがやけ福祉会が運営している事業所の利用者と共に、それ以外で、地域において障害福祉サービス事業を利用している方へのサービス等利用計画の策定を進めてきた。前半期は、なかなか計画策定が進まなかったが、後半期には、計画策定が進み、最終的には50名の計画策定となった。これにより、地域の在宅障害者への相談支援活動の広がりが出来てきた。

その取り組みを行って、見えてきた状況では、本人の要望があったにもかかわらず、これまで障害福祉サービスや社会資源を利用するに至らなかったケースや、本人の要望にすぐに応えられる障害福祉サービスや社会資源が不足している事、地域にむけての相談支援センターの周知や困難事例への対応等、課題が明らかになってきた。

相談支援専門員としての専門知識の習得や支援技術向上のため、積極的に研修に参加をしてきた。今年度も葛飾区主催（身体・知的相談支援部会・分科会一サロン）の研修への参加および、企画委員として1名、相談支援専門員研修の運営に携わってきた。その中で、他事業所の相談支援専門員や高齢者事業所、障害児事業所等との交流や連携を深めることができた。

**I 利用者状況**

1. 各月サービス等利用計画・モニタリング策定数（ ）法人外在宅者等・内数

	サービス等 利用計画	モニタリン グ	小計 (件)		サービス等利 用計画	モニタリ ング	小計 (件)
4月	7	4(1)	11(1)	10月	15(1)	4(3)	19(4)
5月	8	2	10	11月	9(4)	5(3)	14(7)
6月	13(1)	0	13(1)	12月	8(4)	6(4)	14(8)
7月	9(1)	0	9(1)	1月	11(4)	3(2)	14(6)
8月	13(2)	0	13(2)	2月	23(15)	10(7)	33(22)
9月	13(2)	4(2)	17(4)	3月	24(17)	3(2)	27(19)
小計	63(6)	10(3)	73(9)	小計	90(45)	31(21)	123(66)
				合計	153(51)	41(24)	196(75)

**II 職員状況**

1. 職員配置

- 1) 管理者 1名（相談支援専門員兼務）
- 2) 相談支援専門員 1名